

系	統	2液型エポキシ樹脂系打継ぎ用接着剤
特	長	1) 新旧コンクリートの打継ぎ接着性に優れる。 2) 湿潤面への接着性に優れる。
用	途	1) コンクリートの打継ぎ、嵩上げ用 2) 空港コンクリート舗装の薄層付着オーバーレイに関する研究 国土技術政策総合研究所 研究報告第30号 平成18年9月 3) 鋼床版橋梁の疲労耐久性向上技術に関する共同研究(その2・3・4) 報告書 独立行政法人土木研究所 共同研究報告書 整理番号第395号 平成21年10月
配	合 比	主 剤 : 硬化剤 = 3 : 1 (重量比)
荷	姿	10kg セット (主剤 / 7.50kg、硬化剤 / 2.50kg)
外	観 性 状	主 剤...白色粘稠液状 硬化剤...淡黄色液状 混合物...白色粘稠液状

可使時間・打設有効時間

タ イ プ	冬 用 (W)		夏 用 (S)	
温 度 []	5	20	20	35
可使時間 [分]	90	30	90	20
打設有効時間[時間]	5	2	3	1.5

可使時間：接着剤混合開始から塗布作業ができなくなるまでの時間。

打設有効時間：接着剤混合開始からコンクリートの打設を終了しなくてはならない時間。

比	重	1.20 ± 0.10 (硬化物)
標	準 使用量	1.2 kg/m ²
貯	蔵 保証期間	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防 法 による 区 分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類
使	用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ローラー、刷毛、ゴムベラなどで打継ぎ面に塗布する。 4) 打設有効時間内にコンクリートを打設する。 5) コンクリートの養生を行う。
使	用上の注意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトンス、汚れ、脆弱部の除去) 2) 接着面に浮き水がある場合は、浮き水を除去する。 3) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 4) 可使時間内に塗布作業を終了する。 5) シンナーや水を混入して使用しない。 6) 夏期施工時は、可使時間が短くなるため直射日光下に製品を置かないこと。 出来る限り使用直前まで現場事務所等の冷暗所に保管すること 7) 打設有効時間内に、コンクリートの打設を終了する。

⚠ 注 意

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。 2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 4. 詳細については製品安全データシート(MSDS)を参照してください。 |
|---|